

I-URIC連携企画 2021年度

情報・システム研究機構 機構シンポジウム

不確実な未来へ 地球規模課題に挑むデータサイエンス

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの生活を一変させ、コロナ後の生活や社会像も未だ見通せない状況が続いています。また、地球温暖化がもたらす地球環境の変化は、自然科学だけではなく、エネルギー問題など経済活動や社会生活に密接に関係した身近な問題として、今、世界的な関心事となっています。一方で、SNSやデジタルメディアの発達に伴う不確かな情報の氾濫「インフォデミック」も、地球規模の社会問題として危惧されています。

生命、地球環境、人間社会の複雑な現象の解明にデータサイエンスの推進を通して挑む情報・システム研究機構としては、こうした状況を踏まえ、「不確実な未来へ：地球規模課題に挑むデータサイエンス」を本シンポジウムのテーマとし、気候変動や感染症拡大、エネルギー問題、情報氾濫など、様々な地球規模課題に挑むデータサイエンス研究の最前線をご紹介します。学生から一般の方々まで、広くみなさまのご参加をお待ちしております。

日時

2021.
12.15 水
13:30-18:00



江守 正多 副領域長



伊藤 公人 教授

開催
形態

Web配信

Zoomウェビナー & YouTube Live

参加
申込

2021年度シンポジウム特設サイト
<https://sympo2021.rois.jp>

上記サイトの参加申し込み画面からお申込みください



藤井 康正 教授

プログラム

(予告なく変更する場合があります)

13:30~13:40	開会挨拶	藤井 良一 機構長	15:40~16:20	招待講演2	伊藤 公人 教授 (北海道大学) 「データサイエンスで病原体の変異と感染症の流行を予測する」
13:40~13:45	来賓挨拶	文部科学省 (予定)			
13:45~14:25	招待講演1	江守 正多 副領域長 (国立環境研究所) 「気候危機のリスクと社会の大転換」	16:20~17:00	招待講演3	藤井 康正 教授 (東京大学) 「自然変動電源大量導入とエネルギーシステムモデル」
14:25~14:45	一般講演1	山口 一 特任教授 (国立極地研究所) 「北極海航路利用のための海水予報」	17:00~17:20	一般講演4	黒川 顕 教授 (国立遺伝学研究所) 「微生物データサイエンス」
14:45~15:05	一般講演2	川村 賢三 准教授 (国立極地研究所) 「熱-水-物質の巨大リザーバ： 全球環境変動を駆動する南極氷床と南大洋」	17:20~17:40	一般講演5	越前 功 教授 (国立情報学研究所) 「Real or Fake? インフォデミックを克服する ソーシャル情報基盤技術 ~地球規模で生じる不確かな情報の 氾濫を抑制するには~」
15:05~15:25	一般講演3	上野 玄太 教授 (データサイエンス共同利用基盤施設/ 統計数理研究所) 「熱帯太平洋から始めるデータ同化」	17:55~18:00	閉会挨拶	津田 敏隆 理事